星空案内人資格認定制度ニュースレター No.66
発行：特定非営利活動法人星のソムリエ機構
発行日：2024 年 12 月 31 日

目次

(再掲) 第 17 回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム開催のお知らせ(第一報: 発表募集、協賛募集)(締切 1 月 12 日) 1

星空案内人シンポジウム開催地募集(1 次締切 1 月 20 日) 2

(再掲)第 3 回星のソムリエのワークショップのお知らせ(ご意見募集中：締切 1 月 10 日) 2

12 月の機構の活動 3

(第 15 回)星のソムリエ何でも情報交換会(12 月) 3

9 月定例理事会の開催 3

投稿記事 4

星のソムリエ®YORON によるアストロツーリズムの実践の 6 年間 4

お願い(投稿募集) 5

(再掲) 第 17 回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム開催のお知らせ(第一報: 発表募集、協賛募集)(締切 1 月 12 日)

星空案内人シンポジウムの開催をお知らせです。今回はシンポジウムにて発表してくださる方を募集いたします。発表なしで参加のみの皆さんには、１月３１日頃に詳細プログラムを添えて募集しまので、しばらくお待ちください。詳しくは、シンポジウムのホームページをご覧ください。

発表申込みは、ホームページにある申し込みフォームからお申し込みください。締め切りは、1 月 13 日です。

併せて、特別協賛、協賛、ブース協賛、ブース展示、後援も募集しています。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

日程： 2025 年 3 月 2 日(日曜)、3 日(月曜)
会場： ディスカバリーパーク焼津天文科学
現地およびオンライ参加のハイブリッド開催です

〒425-0052　静岡県焼津市田尻 2968-1
主催：　特定非営利活動法人 星のソムリエ機構
共催：　ディスカバリーパーク焼津天文科学館
特別協賛：　株式会社ビクセン
展示ブース協賛：株式会社サイトロンジャパン
(協賛は引き続き募集中です。)
シンポジウムホームページはこちらです：
https://star-sommelier.org/symp17/

星空案内人シンポジウム開催地募集(1 次締切 1 月 20 日)

2026 年春またはそれ以降のシンポジウムの開催地がまだ決まっておりません。開催地提供の可能性がありましたら是非、検討をお願い申し上げます。今回のシンポジウムホームページ(上記)の掲示板に開催地検討資料とエントリーシートを準備いたしました。ご覧になり御検討をお願い申し上げます。複数の申し込みが考えられますので 1 次締切を 1 月 20 日に設定しこの時までにエントリーされた団体と協議したいと思います。開催をご検討の団体は締切日までにエントリーをよろしくお願いします。

(再掲)第 3 回星のソムリエのワークショップのお知らせ(ご意見募集中：締切 1 月 10 日)

　次回の星のソムリエのワークショップのテーマが決まり、以下の事前調査を行うことになったのでご協力お願いします。

　今回のテーマ：観望会の開催日、曇天雨天になった時、どんな事をしてますか？です。こんな時、雨天曇天メニュー(星空案内の素材)がたくさん詰まった宝箱のようなもの(データのアーカイブ)があって、その中から気に入った素材がすぐに見つけられたらいいですね。そのような「夢の宝箱が実現可能か？」を明らかにすることを今回のワークショップのミッションにすることにしました。

　事前調査では、以下のフォームでこんな質問への投稿を募集します。

Q1. この宝箱が「どんなものだったらいい」と思いますか。こんな宝箱が欲しいというイメージをお教えください。

Q2. 「このような宝箱があったらいいな」と誰しも思うところですが、実際にはそのような宝箱は存在しません。困難な理由はなんでしょう？ご意見をお聞かせください。

また、類似したデータベースをここれまで試みた、あるいは試みようとした方がおいででしたら、実現が困難な理由としてどんなことが考えれらますか、お教えください。

(調査期間：2024 年 12 月 1 日-2025 年 1 月 10 日)
以下のフォームから投稿をお願いします。
https://forms.gle/Ns4noTogQmpytFgWA

12 月の機構の活動

(第 15 回)星のソムリエ何でも情報交換会(12 月)

日時 2024 年 12 月 4 日水曜 20:00-21:15
場所 zoom 会議
今月のテーマは「星空案内と観光」でした。
参加：２５名
招待講演１： 「星のソムリエ®YORON によるアストロツーリズムの実践の 6 年間」
澤田 幸輝（和歌山大学大学院観光学研究科）
招待講演２： 「[野辺山の観光資源を活かして・・・17 年間」
小塩 智也(八ヶ岳・野辺山高原,八ヶ岳グレイスホテル)
情報提供１：宮本 秀明（三重県 伊勢志摩国立公園）
情報提供２：萩野 祐司（奥三河☆星空の魅力を伝える会）

参加の皆さんから近況など自由に情報交換する時間、相談・質問時間を設けました。

終了後いただいたお便りや情報は以下です。また、澤田さんの招待公演をまとめた小論文をニュースレターへの投稿記事としてこのニュースレターの末尾に掲載しています。

★
沖縄の離島宮古島からクダカです。昨夜はとても有意義なお話しありがとうございました。
宮古島は星空案内人講座はないのですが、星空関係の仕事をしてる人は多いので皆さんが地域一丸となっての取り組み、また個人で一から紡いでゆくことの難しさを知れて、頑張らないとなという思いにさせられました。本当に貴重なお話しありがとうございました。

久高美来(沖縄県)

★ ホテルや様々な施設、団体の方と一緒に活動する際に市町村の観光課などと連携をとるといいということ、まずは顔を売る、何をしている何者なのかを知っていただくということが大切だということ大変参考になりました。本当はすぐにでも案内の活動に振り切っていきたいところではありますが、現在の仕事との兼ね合いを考えつつ、焦らずに、まずは経験を積んでいきたいと思います。楽しいお話を聞かせていただきありがとうございました。

八尋綾乃(福岡県)

12 月定例理事会の開催
開催日時：2024 年 12 月 10 日 21:00-21:30

開催場所：法人事務所及びオンライン会場
出席：理事会メンバ 10 名中、出席 9 名、欠席：1 名

- 各事業グループからの報告と情報交換
- 2025 年 3 月開催予定の全国シンポジウムについて
- 今後の運営について

投稿記事

星のソムリエ®YORON によるアストロツーリズムの実践の 6 年間

澤田幸輝（与論島 夜空のおさんぽガイドの会　書記・会計／
沖縄女子短期大学総合ビジネス学科　助教）

近年、美しい星空や天文現象を求めて人々が移動する「アストロツーリズム」への注目が集まっている。アストロツーリズムは、ナイトタイムエコノミーの活性化や光害防止啓発活動の推進、地域内における女性雇用の促進に繋がることなどから、国内外で持続可能な観光に寄与する観光形態として注目を集めている。著者が研究フィールドとする鹿児島県与論島は、持続可能な観光の基礎である「トリプルボトムライン」の考え方に立脚し、星空を地域資源とした観光地域づくりを進めてきた。トリプルボトムラインは、社会経済的持続可能性・環境的持続可能性・社会的持続可能性の 3 つの側面について、相互にバランスを取りながら観光地域づくりを進める考え方である。これまでの与論島は、百合が浜に代表されるようなマリンレジャーを核とする観光地空間を形成してきたが、夏場に集中する観光客の季節変動の平準化や夜間の新たな観光コンテンツ創出の必要性などから、2019 年に和歌山大学観光学部と連携協定を結び、とりわけ星空を地域資源とした持続可能な観光地域づくりに着手してきた。

かかる実践活動の一環として、与論島では 2019 年から和歌山大学のサテライト会場として星空案内人資格認定講座を開始し、アストロツーリズムの担い手となる人材育成に取り組んできた（講師：尾久土正己氏）。講座は現在まで毎年 1 回ずつ開催し続けており、2024 年 12 月現在で 84 名の星のソムリエ®を輩出している（正案内人：4 名，準案内人：80 名）。これは島人口約 5,000 人に対して、人口比率では約 1.7%の取得率であり、自治体人口当たりの取得率は日本一でないかと思われる。また現在では、星のソムリエ®資格を取得した 10 前後の観光事業者が星空ツアーを催行するなど、星のソムリエ®資格認定制度が島内におけるナイトタイムエコノミー（社会経済的持続可能性）の活性化に確実に貢献している。

与論島で星のソムリエ®が増加した背景にはいくつかの要因が考えられるが、特に島内観光の中核を担ってきた人々が星空ガイドとして活躍していることが、島民や観光事業者にポジティブな影響を与えていることが考えられる。近年では、島内の星のソムリエ®の活躍に触発されて星空案内人資格認定講座を受講したという受講生が多く見られるようになっ

ている。また観光事業者だけでなく、幅広い職種の人々が星のソムリエ®資格を取得していることから、それぞれの立場で光害防止啓発活動（環境的持続可能性）や島に伝わる天文文化の継承活動を行うなど（社会的持続可能性)、星のソムリエ®同士で連携しながら持続可能な観光地域づくりを実践していることも、星のソムリエ®たちのモチベーション向上に繋がっているものと思われる。以上の取組みは国際的にも評価を受けており、2023 年 10 月には、持続可能な観光を評価する国際認証団体 Green Destinations から'Green Destinations Stories Top100'の認証を受けている。

島内における星のソムリエ®資格取得者の増加を受けて、2022 年 12 月には、与論島で活動する星空ガイド（星のソムリエ®YORON）に特化した連絡協議会「与論島 夜空のおさんぽガイドの会」を発足させた。同会では、会長の橋本康宏氏（アークトゥルス)、副会長の本園秀幸氏（ビーチボーイクラブ）を中心に、与論島におけるアストロツーリズムの更なる推進や地域住民への天文教育普及活動を実践していくための基盤づくりに取り組んでいる。2024 年度からは、同会が星空案内人資格認定講座の実施団体としての承認を受け、橋本氏、本園氏を新たな講師陣に迎えた資格認定講座を開講している。

与論島におけるアストロツーリズムの実践は、各種メディア等でも取り上げられていることなどで、天文関係者だけでなく、広く一般市民にも認知されつつある。また島内の星のソムリエ®たちの活動は、島民に対して夜空の価値を再認識させるきっかけにもなっている。今後も星のソムリエ®によるアストロツーリズム推進のモデルケースになるような実践を続けていくとともに、ぜひ他地域の星のソムリエ®の皆様方から与論島の実践についての意見を頂戴したい。美しい与論島の星空の下で、皆様とお会いできることを楽しみにしている。

参考資料

OVO（2024）「その美しさに世界が納得。島を愛する人が守るヨロン島の星空」, https://ovo.kyodo.co.jp/pr/yoronisland_03

ヨロン島観光協会,「星空ツアー特集～ヨロン島が持続可能な観光地 TOP100 に選定！」, https://www.yorontou.info/feature/17872.html

Astrotourism Lab,「夜空のおさんぽガイドの会」, https://astrotourism.jp/category/yoron-guide/

お願い(投稿募集)

この News Letter は、制度の実施団体向けのメーリングリストおよび星のソムリエに関心のある方が参加している members メーリングリストに配信しております。

話題のコーナーへの皆様からの投稿をお願いします。近況報告や星空案内ネタ、短い随筆、俳句、短歌、写真などなんでも結構です。毎月月末発行ですので、その 1 週間前くらいまでにいただければ嬉しいです。（編集担当；柴田）